

令和7年度の活動2

25.5.19

音調津総合センター内にある写真、書画の撮影、聞取りを実施

写真でつづる音調津の歴史

昭和57年4月音調津で亡くなった中村守康(本名 実)氏の御子息 輝さんから『父母が20年にわたって御世話になった音調津の地域の 皆さんへ御礼として』と書いて 音調津町内会へ金貳拾万円を寄贈されました。

音調津町内会では種々協議の末 『写真でつづる音調津の歴史』を作り総合センターに展示することにし 勝見信也・山谷照夫・遠田誠・村上慧・松本一利・窪田信一の6名に委嘱し作成しました。御覽戴下されば幸いで御座ります。

中村守康氏について申し上げますと

明治37年10月6日生 旧姓 水丸

昭和37年4月 音調津に来る

採石業から転じて ササの葉の加工業を行う

昭和54年3月26日 妻ミカ音調津にて世を去る

昭和57年4月15日 帯広の病院で世を去る

その間 文化協会役員・老人クラブ会長として音調津の社会教育のために 奥さんともども多大の貢献がありました。

音調津町内会会長 土 屋 茂



築港工事中

昭和8年春の写真 土屋蔵太郎氏 山田仁作氏 布施清一郎氏などが見える 工事は昭和7年から昭和9年の短期間で完成